

	牧師 山本護	司式 斉藤美沙子	奏楽 山本恵美	※讃美歌は沈黙して心で歌います
前 奏	黙想		祈 禱	
讃美歌	70 父、み子、みたまの		讃美歌	249 われつみびとの
祈 禱			献 金	
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠	547 いまささぐるそなえものを
聖 書	エレミヤ書 49:14~15 ルカによる福音書 21:9~19		黙 禱	
讃美歌	285 主よ、み手もて		主の祈り	564
説 教	『授けられるままに従う』		頌 栄	544 あまつみたみも
			祝 禱	後 奏

教会の暦では先週「灰の水曜日」が過ぎ、四旬節(受難節)に入った。これから徐々に十字架へ向かって行くわけだが、世の出来事があったかも教会歴と並行するがごとくに、不吉さが高まっている。

「戦争とか暴動のことを聞いても、おびえてはならない(ルカ 21:9)。「大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起り、恐ろしい現象や著しい徴が天に現われる(21:11)」。ロシアのウクライナ攻撃とか、コロナ災禍とか、地球環境の悪化とか、寓意として当てはめやすいので、恐怖を煽り立てて人々を困い込むカルトっぽい教会もある。しかしイエスは、「おびえてはならない(21:9)」と戒めている。

人間の歴史では、それほどに戦争が頻発し、飢饉や疫病は数多く、気象は度々変化している。そしてキリスト者には加えて、苛烈な迫害が起る。「わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれ(21:17)」、またもっとも身近な「親、兄弟、親族、友人にまで裏切られる(21:16)。そして「人々はあなたがたを迫害し～わたしの名のために王や総督の前に引っ張っていく(21:12)」。なぜ、そこまでやるのか。十字架に向かうイエスの受難は、世にとっての価値や秩序を根底から覆す再創造だからだ。

十字架へ進まれるイエス。私たちがイエスに従って行く。戦禍の中を、疫病の中を、自然災害の中をイエスは十字架に向かう。従う私たちにも、力の圧迫か(21:12)、親しい人々との摩擦か(21:16)、試練は不意にやって来るだろう。だが、そのための備えはしなくともよい。「前もって弁明の準備をするまいと、心に決めなさい(21:14)」と命じられた。こうした危機はキリストを証しする機会であり、その時に「わたし(イエス)があなたがたに授けるからである(21:15)」。不安は無くならないだろう。ただ不安にも、不安を解消する手立てにも心奪われてはならない。集中すべきは授けられるままに従うこと。

「わたしは主から知らせを聞いた。使者が諸国に遣わされ〔集まれ、エドムを攻めよ。戦いにしよ〕と言う(エリヤ 49:14)。「エドム」とは、族長ヤコブの兄エサウの子孫(創世 36:8)。超大国バビロニアに翻弄される中で、弟分のイスラエルと同盟したり敵対したりしたわけだが、元は兄弟。そんなエドムを攻めよ、と主は不条理なことを言う。ところが「見よ、わたしはお前を諸国の内で、最も小さいものとする。お前は人々にさげすまれる(エリヤ 4:15)」。要するに神の民は、戦争に不向きな弱小集団だ。

軍隊に障害者はいない、病人はお払い箱、高齢や虚弱者は三種不合格。健康であっても神のみに従うキリスト者は、煮ても焼いても食えず、軍隊では不適格。なんと幸いなことか。私たちは「その時」に授けられる御言葉で戦う(ルカ 21:15)。「わたしたちは肉において歩んでいるが、肉に従って戦うのではない。わたしたちの戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力(IIコリント 10:3~4)」で戦う。

四旬節、イエスは十字架に向かって進まれる。従う私たちの周りではキリストの受難を暗示するかのよう、戦争や疫病や自然災害が起っている(ルカ 21:10~11)。恐れおののく私たちをイエスは「おびえてはならない(21:9)」と戒める。私たちが「イエスの名のためにすべての人に憎まれた(21:17)」としても、「あなたがたの髪の毛の一本も決してなくなる(21:18)。私たちは「諸国の内で最も小さい者(エリヤ 49:15)」としてキリストの受難に従って行く。髪の毛一本まで愛され、見守られているから。

「肉」の戦いは武器と経済力です。掲げられた道徳や正義もまた肉。それでは「神に由来する力」で戦うとは祈るだけなのか。そうとは限らない。言葉と行動と物が混然と。時が来れば授けられる

本日午後は役員会とトチャムの練習があります。3/12(土)1:30~3:00 聖書研究会。今年の復活祭は4/17、愛餐会ができますように。教会総会は4/24の礼拝後、会員の方は予定しておいて下さい。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。